

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (4) 津波被災地である相馬地区の農地復旧・営農再開支援について
JAふくしま未来（福島県）

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	JAふくしま未来 そうま地区は、東日本大震災による津波被害の影響で、震災前の81%にあたる約9,700haの水田が塩害を受けました。除塩の進展により、水稻の作付再開は徐々に進んでいますが、雑草地や耕作放棄地の拡大の影響により、カメムシ等が大量に発生しており、この対策が大きな課題になっていました。
2 概要	カメムシ等の大量発生は1等級米比率の低下につながることから、当JAでは、それに伴う生産者の収入減少・営農意欲の減退を回避するため、継続的に生産者の品質向上のために害虫防除剤購入費用の助成を行っています。 本取組み費用の一部は、農林中央金庫より助成されています。
3 成果 (効果)	農地復旧が進められる中では病虫害の発生は避けられない課題であり、適切な薬剤使用により地域農業の早期復興を促すものとなりました。
4 今後の予定 (課題)	被災地における病虫害発生は引き続き注視すべき課題であり今後も支援を継続していく予定です。

【南相馬における雑草状況】

